



# 国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

平成 28年 12月 19日 (月)

国土交通省 関東地方整備局

東京港湾事務所

## 記者発表資料

### 東京港臨港道路南北線 国内最長の沈埋函（鋼殻）を初出渠

#### ～報道機関を対象とした現場見学会の実施～

東京港湾事務所では、国際コンテナ戦略港湾である京浜港の一翼を担う東京港において、需要の増大に対応した円滑な港湾物流を確保するため、平成31年度末の完成を目指して中央防波堤地区と有明地区を海底トンネルで結ぶ「東京港臨港道路南北線」の整備を進めています。

当該道路は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に、晴海の選手村と中央防波堤地区の競技会場を結ぶアクセス道路としても期待されています。

横浜港本牧地区の製作ドックにおいて、沈埋函の鋼殻の工場製作を本年5月から開始してきましたが、このたび当該沈埋函の鋼殻が完成し、製作ドックから出渠(引き出し)し、千葉港葛南地区まで海上運搬することになりました。

今般、製作ドックから沈埋函(鋼殻)の出渠にあわせて、報道機関を対象とした現地見学会を開催します。

日時：平成28年12月28日(水) 14:30～17:00

場所：三菱重工業(株)横浜製作所

なお、完成した沈埋函の鋼殻は、長さ134m、幅27.8m、高さ8.35m(鋼材重量は約3,300トン)と巨大な構造物で、これまでに国内で製作された沈埋函のなかで最長のものとなります。

※本沈埋函は、鋼板とコンクリートで造る函体構造物です。

鋼殻と呼ばれる鋼板の枠にコンクリートを打設し、沈埋函が完成します。

東京港湾事務所ホームページ URL <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/tokyo/>

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、都庁記者クラブ

#### 問い合わせ先

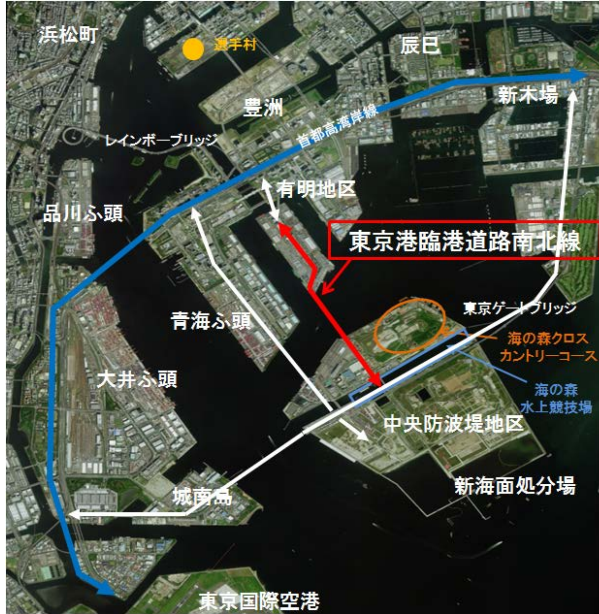
国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所

副所長(技) 立花 祐二 (内線 12)

保全課長 増門 孝一 (内線 80)

電話 03-5534-1360 (代表) / FAX 03-5534-1369

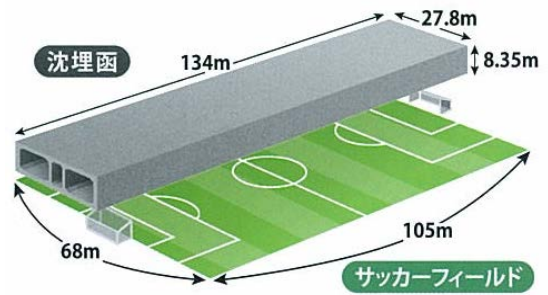
# 1. 工事概要



東京臨港道路南北線位置



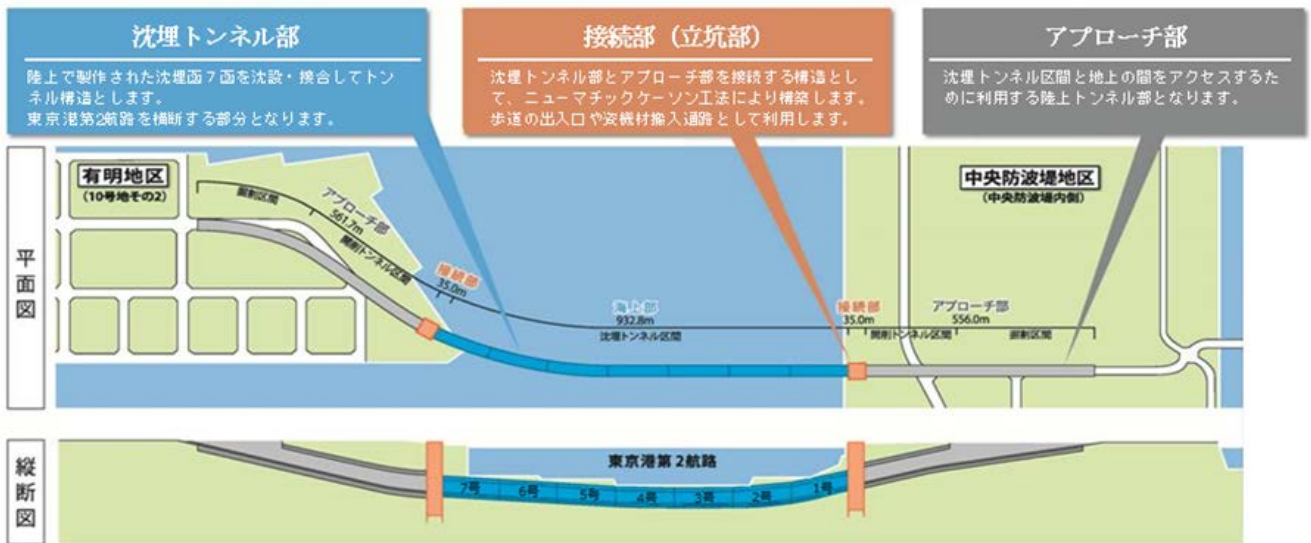
工場製作が完成した最初の沈埋函



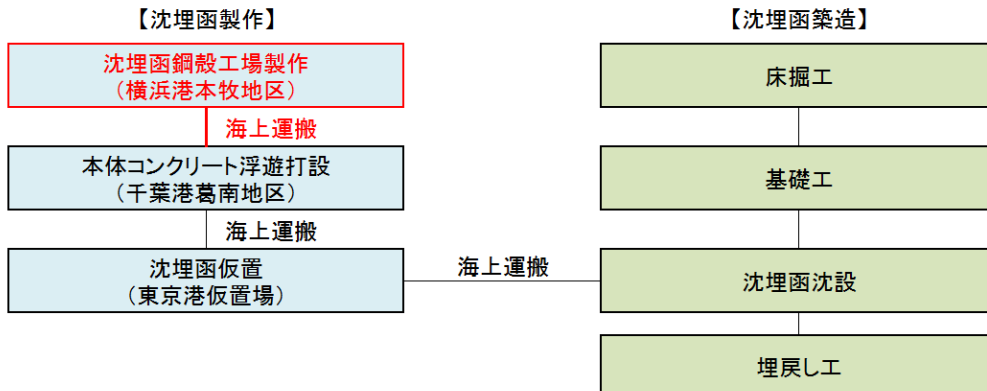
沈埋函規模のイメージ

東京港臨港道路南北線の海底トンネルは、7 函の沈埋函を海中で接合して構築するもので、沈埋トンネルと呼ばれています。

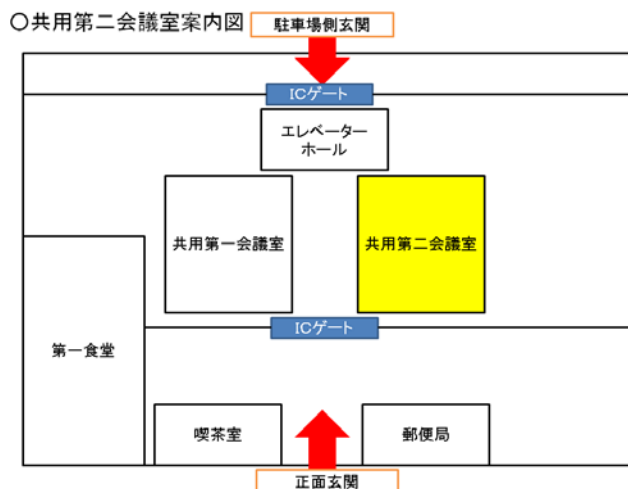
工場製作で完成した沈埋函鋼殻の両側に蓋を取り付けて浮上させ、次の製作ステップとなる千葉港葛南地区まで海上運搬します。



## 施工ステップ



2. 集合 平成28年12月28日(水) 14:30(受付は14:00開始)  
 横浜第二合同庁舎1階 共用第二会議室(横浜市中区北仲通5-57)



### 3. 当日のタイムスケジュール(予定)

- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 14:00～      | 受付                               |
| 14:30       | 集合(横浜第二合同庁舎共用第二会議室)              |
| 14:40～15:05 | 三菱重工業(株)横浜製作所へ移動(マイクロバス)         |
| 15:10～15:15 | 施工者への挨拶(関東地方整備局)                 |
| 15:15～15:45 | 報道機関に対する当局からの概要説明(事業概要、沈埋函の製作概要) |
| 15:45～16:15 | 工場内にて沈埋函の浮遊状況を見学                 |
| 16:15～16:30 | 質疑応答                             |
| 16:35～17:00 | 横浜第二合同庁舎へ移動(マイクロバス)・解散           |

### 4. その他

#### 1)取材申し込み

取材をご希望される報道関係者の方は、平成28年12月22日(木)16:00までに所定の取材申込書(別添)を用い、FAXでお申し込みください。

※移動に係るマイクロバスの定員の関係上、必ず事前のお申し込みをお願いいたします。

お申込者数が定員を超えた場合は、人数調整をさせて頂くこともございます。

#### 2)当日の服装

見学に必要なヘルメット、安全靴等は、当局で用意いたします。寒い時期ですので、十分な防寒対策をお願いします。

#### 3)取材時の注意事項

製作工場内は、立入禁止エリア及び撮影禁止エリアがあります。取材は担当者の注意、指示に従ってください。

- 4)天候等の影響により出渠を順延する可能性があります。順延の場合、見学会は中止とさせていただきます。その場合は、お申し込みいただいた報道機関のご担当者様あてに当日ご連絡いたします。

【別添】

※申し込み期限:平成28年12月22日(木)16:00

## 取材申込書

関東地方整備局 東京港湾事務所 総務課 総務係 宛

FAX 番号:03-5534-1369

12月28日 東京港臨港道路南北線事業 沈埋函出渠にかかる取材

報道機関名	
所属記者クラブ	
担当者名	
連絡先、部署	
電話番号	※緊急時に連絡可能な電話番号をご記入ください。
取材体制(人数)	名
集合場所への 参集方法	1. 公共交通機関 2. 車 2. 車の場合 ナンバー: 車種:
靴のサイズ	cm ※安全靴を用意いたしますので、全員のサイズを記入して下さい。
動画撮影	あり ・ なし
連絡事項	

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり本件に関する連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

※合同庁舎の駐車場が工事中のため満車になる可能性がございますので、お車でお越しの場合は、お早めに来られるようお願いいたします。

※FAX 送信時にご一報下さるようお願いいたします。

### ■問合せ先

関東地方整備局 東京港湾事務所

副所長(技) たちばな ゆうじ 立花 祐二(内線12)

保全課長 ますかど こういち 増門 孝一(内線80)

電 話 03-5534-1360(代表)